

ウッディーラー豊田の3つのミッション

ウッディーラー豊田として、森林の現状をふまえ、3つのミッションに取り組んでいます！

1

森と人の距離を近づけ、豊田に住む人、森に関わる人の暮らしを心を豊かにします。

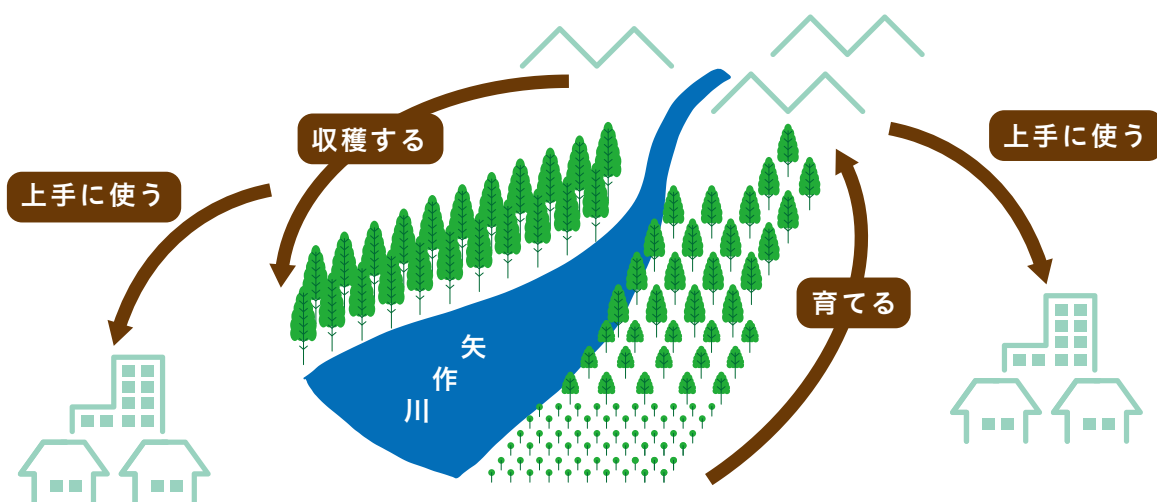
2

木材の利用により、人工林の手入れを促進し、健全で美しい豊田の森をつくります。

3

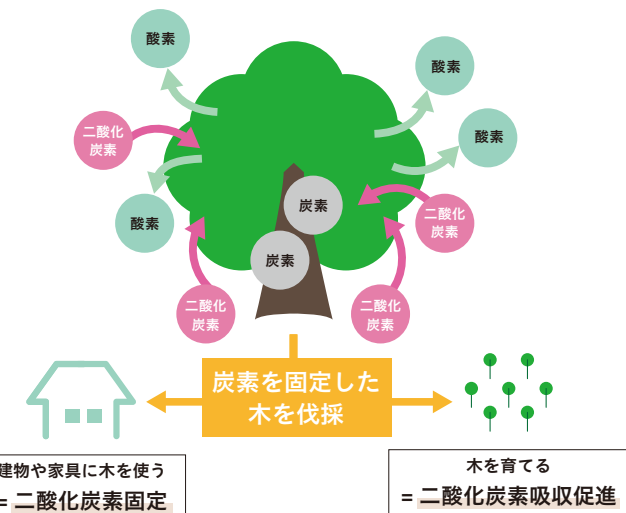
木材産業の発展と創出により地域経済を活性化します。

豊田市の森林の現状



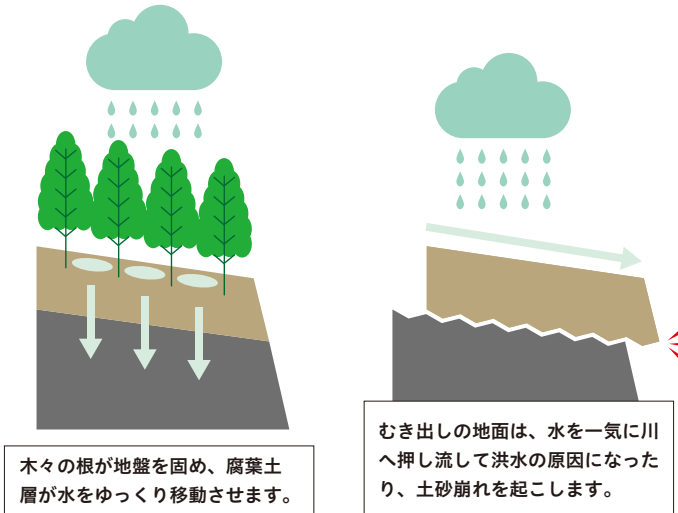
豊田市は2005年4月の合併により、市域の7割が森林を占める「森林都市」となりました。豊田市の森林の約6割は、人の手で植林された人工林であり、残りが広葉樹を中心とした天然林などです。豊田市の森林は、矢作川を通して海とつながっています。そして、「豊かな森林は豊かな海を育む」といわれ、豊田市だけでなく、日本の国土・海域の下支えとなっています。しかしながら、現状は外国産材の輸入が多く、林業の担い手不足などから国産材の利用が低迷し、手入れがされず、荒廃が進んでいる森も多くなっています。そこで豊田市は、条例や構想を作成し、森林とともに暮らす、まちづくりを推進しています。

木材活用と地球温暖化対策



木材を活用することは、森林整備の促進のみならず、地球温暖化対策にも繋がります。木は、空気中の二酸化炭素を吸収し、光合成により成長します。吸収された二酸化炭素は、炭素として樹木に固定され、木が伐られても木材として建物や家具などに利用されれば、二酸化炭素として空気中に戻ることはありません。加えて、適切に森林を管理することで、二酸化炭素を吸収する森を作ることができます。

森林保全と災害対策 洪水や土砂崩れを防ぐ森林



木々の根が地盤を固め、腐葉土層が水をゆっくり移動させます。

むき出しの地面は、水を一気に川へ押し流して洪水の原因になり、土砂崩れを起こします。

森林の保全は、想定を超える豪雨災害等の災害の被害をおさえることにも繋がります。太陽光パネルの設置や砂利採取等の開発事業による大規模な皆伐や路網作設は森林環境を大きく変え、森林土壌へダメージを与える行為となる可能性があります。豊田市は、長期構想により計画的に森林整備を行い、豊田市産の木材の利用を推進しながらも、森づくりを通して安全に暮らせるまちづくりを行っています。

豊田市周辺の木造・木質化事例



小牧市・博多bo-zu



名古屋市北区・EIGHT SALON



日進市・ELK NEW YORK BRUNCH (プライムツリー赤池店内)



豊田市・AMELIE CAFE (T-FACE内)



豊田市・とよしば



犬山市・エイトパークカフェ 犬山店

《問合せ先》
一般社団法人ウッディーラー豊田

470-0307 愛知県豊田市東広瀬町高根下 24-1
TEL 0565-77-3773 FAX 0565-98-0168
MAIL info@woodealer.jp / HP http://woodealer.jp



本パンフレットは、令和元年度農山漁村振興交付金を活用して製作しました。

DO LIGNIFY

CAFE, SALON AND ANY SHOP IN TOYOTA CITY

豊田市の木質化推進事業



WOODEALER

豊田市の木を 使ってみませんか？

豊田市内はもちろん、新国立競技場や、大手カフェチェーン等にも国産の木材が使われ、「脱プラ」など、環境配慮の面からも、木材利用が注目を集めています。また、豊田市では、「豊田市テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金」制度が新設（令和2年4月開始）され、テナント等における建物や什器に木材を利用する際に補助金が適用されるようになります。木質の空間は人に癒しを与える効果や、使い方やデザインによって視認性を高め、店舗等に木材を使うことで地域の森づくりに貢献できます。お店作りを通して、環境に配慮したメッセージを発信してみませんか？



木質化で まちに潤いを！

シンプルでナチュラルな素材の「木」は、空間をやさしい雰囲気
で包みます。木材の表面には、微細な繊維の凹凸により、温かみ
のある照明反射の効果があります。
また、まちの癒し空間や、人の集う場所を木質化することで来客
者の滞在時間は長くなり、リピート率も上がります。
素材が持つ効果をぜひ体験してください。



豊田市駅前の T-FACE 6F の休憩スペース「T-SIDE SQUARE」には、ウッディーラー豊田が提供した「CRAFT WOOD」を使用。施設のアクセントとして木質化によりデザインされた空間は、フロアへの滞在時間の向上とともに、売上に貢献しています。こちらで使用したのは、100% 豊田市産、地域の職人たちの手で作り上げるオーガニックな木材。顔が見える流通だから、オーダーメイドも可能となっています。

豊田市の様々な施設に、豊田市の木が使われています！

とよた子育て総合支援センター あいあい



2018年11月に豊田市産木材を活用した木育空間としてリニューアル・オープン。スギやヒノキ等の香りや温かい手ざわりの中で安心して遊べる空間として0歳～2歳を対象とした「よちよちゾーン」と3歳から小学校低学年を対象とした「わんぱくゾーン」があります(写真は「よちよちゾーン」)。また、親子で一緒に取り組めるプログラムを開催している「せいさくゾーン」と外の景色を楽しみながら絵本を見たり食事をしたりして、ゆったり過ごせる「みはらしテラス」があり、無料で気軽に利用することができます。

とよた子育て総合支援センター
あいあい
〒471-0026
愛知県豊田市若宮町1丁目57-1
A館 T-FACE 9階

地産地消ハウス「ホガラカ」



とよたエコフルタウン内にあるレストラン「地産地消ハウス ホガラカ」では、建物全体に豊田市産100%の木材がふんだんに使われており、木の温もりを感じながら、地元の農産物を使った料理を楽しむことができます。

地産地消ハウス
ホガラカ エコフルタウン店
〒471-0024
愛知県豊田市元城町3丁目11
エコフルタウン内

